



やさとっ子

四日市市立八郷小学校
学校だより
第 25 号
令和3年9月28日

○全国学力・学習状況調査等の結果と指導改善内容について

5月27日(木)に6年生を対象として、全国学力・学習状況調査が実施されました。「学力調査」では国語と算数の2教科の調査がありました。「学習状況」についても質問形式での調査がありました。同様に、4・5年生では「みえスタディチェック」、3年生では「標準学力検査(NRT)」を実施しました。対象学年の児童には個人票(調査結果)を渡します。それを見て、自分の強みを伸ばすとともに、苦手なところも克服できるように取り組んでほしいと思います。学校でも、結果を分析し、今後の取組にいかしていきます。ここでは、学校全体の結果の分析(強み⇒○、弱み⇒△)と、今後に向けた対応をお知らせします。

全国学力・学習状況調査の結果より

本校6年全体の結果は、2教科とも全国平均正答率、三重県平均正答率を上回る結果となりました。子どもたちの傾向は以下のとおりです。

【国語】

- 漢字の正答率は比較的高い。昨年度からの朝の学習での反復練習や家庭学習の成果が一定みることができたと考察する。
- 「読むこと」も、構成を捉えることを授業の中で意識して取り組んできたこともあり、全国平均正答率より10ポイント以上高い結果となっている。
- △条件にあわせて記述形式で解答する問題や文章で説明する問題に対して苦手な児童もおり、主語・述語がつながっていないかったり、脱字があつたりすることが見られた。

【算数】

- 無回答率が低く、子どもたちが最後まであきらめずに取り組む姿勢ができている。
- 数量や図形の知識・理解を問う設問の正答率は高く、基礎学力は定着している。
- △出てきたグラフを正確に読み取り、内容や傾向を捉えることが苦手な児童が多い。
- △データの活用に関する問題の大半が全国平均正答率を下回っており、グラフを扱う授業を増やしていく必要がある。

みえスタディ・チェックの結果(4.5年)より

【国語】

- 4.5年とも漢字の書き取りができていることが強みである。
- 4年生は、目的に応じた理由や事例を挙げながら筋道を立てて適切な言葉で話すことが強みである。
- △全体的に「読むこと」については苦手な子どもが多く、叙述をもとに根拠を見つけたり、文章を読み取ったりすることが苦手である。
- △自分の意見や考えを書く記述の問題が苦手で、無回答の率も高くなっている。
- △文の中における主語を正しくとらえることができないところが4年生の弱みである。

【算数】

- △4.5年ともに市の平均よりも低くなっており、5年生は特に三角形や四角形の理解の問題の正

答率が低い。加えて、計算の方法、面積の求め方の説明、グラフで読み取ったことの説明など記述式の問題になると無回答率が高くなっている。

△4年生は「整数の2位数×2位数」の単純な計算ミスから点数につながっていない。

○4年生は「整数の除法の意味について理解している」のところが、繰り返し練習した成果から、児童の強みとなっている。

【理科(5年)】

○全体的に、市や県の平均よりも高い。エネルギーの問題での正答率が高いことが強みである。

△フラスコなどの実験器具の名称や方位磁針の操作方法の正答率が低くなっている。

児童質問紙からの分析

「児童質問紙」では、ほとんどの質問項目において肯定的な回答が多く、学校生活、家庭生活とも充実感、満足感をもっている子どもが多いことが明確になりました。特にめだっていた項目は以下の点です。

○地域の行事に参加したことがある割合が平均より25ポイントほど高い。

○「朝食の摂取」「就寝時間等生活リズム」「携帯電話・スマートフォンの使い方を守る」等の数字が高く、良好な生活を過ごしている子どもが多いことがわかる。

○学校休校中も規則正しい生活を送っていた子どもの数が全国平均に比べ10ポイントほど高い。

○△平日、家庭で計画を立てて勉強している子どもの数が全国平均に比べ4ポイントほど高い。しかし、休みの日の勉強時間は全国平均に比べ7ポイントほど低くなっている。

調査結果をふまえた取組のポイント

1. 授業改善

今回の調査で本校の強みとともに弱みが明らかになりました。国語については「目的や相手に応じて話したり聞いたりする」「様々な文章を読む習慣を身につける」ための授業づくりが必要と考えます。算数については、基礎・基本の徹底はもちろんですが、発展的な問題にもしっかりと取り組ませていく必要があると考えます。その点から、再度、教職員の研修を深め、子どもたちに力がつくよう取り組みます。

2. 家庭学習

家庭学習については少しずつ習慣化してきました。しかし、“力をつけるための家庭学習になっているのか”“この家庭学習の内容が子どもたちの学力向上につながっているのか”ということを常に検証し、そのうえで家庭学習の内容や質、さらに評価についてもきちんとしていく必要があると考えます。家庭学習につきまちは、家庭との連携も必要になります。子どもたちの意欲喚起につながるような声かけ等、ご支援ご協力をよろしくお願い致します。

3. 個別支援

学習状況が厳しい子どもたちには、家庭学習の内容をその子にあったものにししたり、算数の少人数授業でも習熟度別にしたりし、個々に応じた学習支援を今後も継続して行います。職員一丸となって、全力で「一人も取りこぼさない」を合言葉に手立てを講じていきます。

4. 実感できる場づくり

どの教科についても「あきらめない」をキーワードに取り組みます。さらに、教科の中で学んだことを発信する場をつくり、評価も丁寧に行います。「やればできる」「がんばってよかった」と子どもたちが実感できるような場面を設けていきます。

【連絡】8月実施予定の PTA 環境整備作業が新型コロナウイルス感染症対策のため延期となっていました。ホームページや学校だよりにてお知らせしたように、今年度の環境整備につきましては、地域の有志の方々にお世話になりました。それにより、今年度の環境整備作業は行わないことが役員会で決定されたので、お知らせします。